

令和7年度 志和池中学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

学校名	都城市立志和池中学校		校長名	松下 綾	
学級数	8	児童生徒数	207名	職員数	20名
教育目標	思いやりの心を持ち、知性に富み、たくましい体をそなえた、実践力のある生徒の育成 ～互いを認め合い、学びあい、未来を創造する学校づくり～				

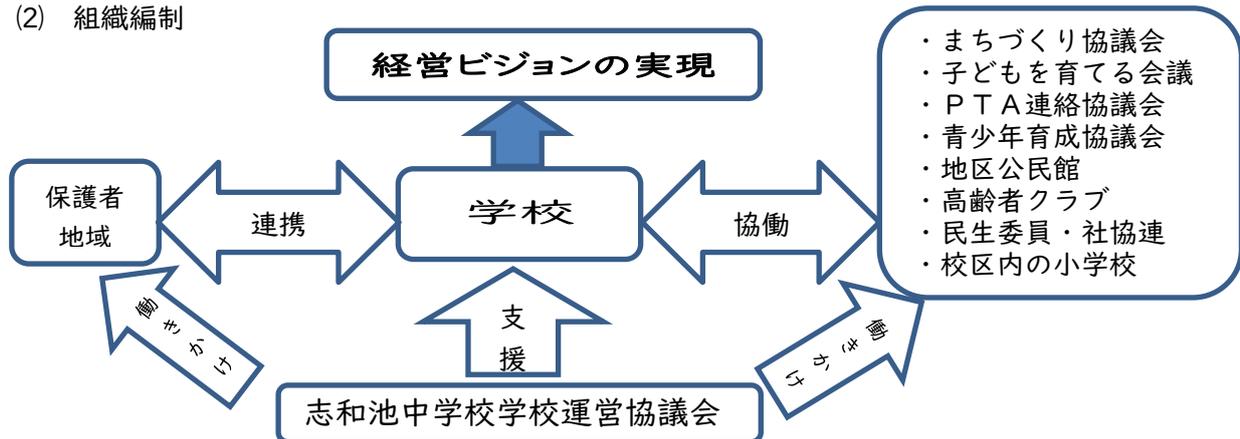
2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員 (計7名)・事務局 (計2名)

学校運営協議会委員	No.	所属名 (役職)	氏名	備考
	1	志和池地区公民館	石川 清澄	
	2	民生児童委員	吉行 桃枝	
	3	志和池地区主任児童員	竹之下 一美	
	4	さくらんぼ子ども園園長	高田 昌彦	
	5	上水流中公民館長	飯田 淳一	
	6	元PTA副会長	内村 裕子	会長
	7	PTA副会長	佐藤 香織	
	8			

事務局	役職	氏名
	校長	松下 綾
	教頭	新町 幸子

(2) 組織編制



3 年間の活動計画

月日	主な活動及び内容
4月	・ 学校運営協議会委員選出
4月30日	・ 第1回学校運営協議会 (委嘱状、学校経営説明、学校評価の評価観点の確認、地域が学校と協力して行う活動の確認)
5月17日	・ 体育大会参観
6月20日	・ 第2回学校運営協議会 (意見交換、授業参観)
7月30日	・ 第3回学校運営協議会 (志和池地区合同学校運営協議会) (協議テーマ「ふるさとを好きになる子どもを育てるために」、小中一貫教育研修会報告)
10月10日	・ 学習発表会参観 (オープンスクール10月7～10日)
10月31日	・ 第4回学校運営協議会 (意見交換、学校評価の検討、次年度校時程の承認、授業参観)
2月6日	・ 第5回学校運営協議会 (学校評価、次年度教育課程説明、改善事項の協議、立志式参観)

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「ふるさとを好きになる子どもを育てるために」

「地域と学校の未来創造ミーティング」の内容をもとに小中合同学校運営協議会を行った。
地域と学校が連携・協働を進めることで目指す変化について話し合った。

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

【朝の読み聞かせ活動】

- ・ 読み聞かせグループ「志和っ池」による、1、2年生を対象とした月に一度の朝の読み聞かせ活動を行っている。1、2年生対象だが、生徒も真剣な態度で熱心に聞き入り、創造力を豊かにする良い機会となっている。



【読み聞かせ活動】

【総合的な学習の時間の外部講師】

- ・ 総合的な学習の時間において、外部講師として招聘したり、生徒が出向いて話を聞いたりするなど様々な場面で支援していただいた。1年生では、地域の高齢者クラブや地域企業に協力していただき、しめ縄づくりや地域調査を行った。3年生では、地域がどのような活動を求めているのかを話し合い、公民館や保育園などで活動させてもらった。



【公民館清掃活動】

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

【小中一貫教育について】

- ・ リーディング DX の取組を中心に小中合同で研修を行い、生徒が主となって学びを進める授業を行うようになった。昨年度は運営協議会で小学校との学習用端末の使用頻度の差について指摘されたが、今年度は良く取り組まれていると意見が出た。また、授業公開に向けての準備の段階で様々な助言をいただいた。



【LDX の取組】

【校時程の変更について】

- ・ 3学期より、働き方改革と部活動時間の確保を両立させる校時程について提案し承認を得た。遅くとも17時半までに下校することは、明るいうちに帰ることができて安心であると意見をいただいた。

(3) 地域貢献活動

【寺子屋サロンボランティア】

- ・ 社会福祉協議会とまちづくり協議会が主催の寺子屋サロンにボランティアとして参加した。150名程の生徒が参加し、小学生の工作活動の助手をしたり、学習支援を行ったりすることができた。



【寺子屋サロンボランティア】

【南九州駅伝前日清掃ボランティア】

- ・ 南九州駅伝前日清掃ボランティアとして、部活動生に加え、8名ボランティアの希望があった。寺子屋サロンや総合的な学習をきっかけに、地域との交流を望む生徒がでてきた。

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 地域の人材を活用した取組を行ったり、地域に出向いてボランティア活動を行ったりして充実した教育活動を行うことができた。
- 小中合同で運営協議会を開催し、意見交換をしたり、児童生徒や学校、地域の目指す方向性を確認したりすることができた。
- 下校指導を行っているものの、学校周辺の道路が狭いため、並列して下校する生徒が多い。
- 他の会議への学校運営協議委員の参加の負担や効率の良い会議の運営が課題である。

7 次年度の方向性

- 今年度と同様、学校行事や参観に合わせて運営協議会を行い、生徒の活動の様子を参観していただく。
- 地域との関わり方を再構築していく際、支援や意見をもらい教育課程に反映していく。